

試合開催当日の会場責任者： 当日の担当チーム感染対策責任者の設定

(1) 参加者に対して

(参加者とは：大会役員・指導者・選手・審判員・チーム関係者・観戦者)

① 以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせる

- ・体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる
- ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

② 参加者全員がマスクを着用する。

- ・屋外で人と十分な距離（最低 2 m）が確保できる場合はマスクを外すことができる

③ 参加者全員の「健康チェックシート」をチーム感染責任者が集める。

→チーム感染責任者が、問題がないかチェックする。

※「健康チェックシート」の管理は、各チームで行う。約 1 か月保管すること。

※観戦者には、「健康チェックシート」の提出は求めないが、

別紙「観戦についてのお願い」を順守していただく様、各チームから協力依頼をすること。

観戦場所は、会場毎に適した設定をし、観戦者間の密を避け、大会役員・指導者・選手・審判員と観戦者との導線を分けることが望ましい。

④ 観戦者が、必要以上に選手やチーム関係者に接近しないよう、各チームで指示すること。

⑤ 派遣審判員は審判委員会からの「健康記録チェック記録シート」により、健康状態を記録（会場責任者で確認 シートの提出は不要）

(2) 参加チームに対して

① 各チーム、責任ある立場の者が、チーム感染対策責任者となり、チーム関係者（観戦者含む）の感染症対策を指導・監督すること。

② アルコール消毒液は、会場で準備できる場合もあるが、原則、参加チームで持参し、選手の手指消毒や、ベンチなどの消毒に使用すること。

③ ベンチ内の密を避けるために、各チームで追加テント等を用意すること。

④ ゼッケンを共有しない。

ベンチ選手のゼッケンの使用について、使いまわさないようにする。

⑤ ボトルの共有をしない。

前半、後半の飲水タイムを採用する。

⑥ 水・氷を溜めたクーラーボックスでボトル等を共有しない。

⑦ タオルを共有しない。

⑧ ベンチではマスクを着用。（第 4 審もマスクを着用）

⑨ 両チームのベンチ挨拶、相手チーム、審判団との握手をしない。

⑩ ピッチ内でも咳エチケットを守り、唾を吐く、鼻をかむなどの行為を行わない。

⑪ ウォーミングアップなども、他チームとの適切な距離を確保すること。

ピッチ内アップ時も同様。当日対戦しないチームとの接近を極力避ける。

- ⑫ ロッカールーム、荷物置場など、チーム内、他チームとの距離を十分にとること。
- ⑬ 観戦者の大声を出しての応援、組織的な応援など行わないこと。
- ⑭ エントリー以外の選手の応援などは禁止とはしないが、会場の状況に合わせた対応をすること。

(3) 有事の対応・有事への備え

① 会場で体調不良者が出た場合

- ・看護する人を最小限の人数で対応し、体調不良者と他者の導線を分ける。
- ・医務室や救護室などを用意し、保護者や救急隊員に引き渡す。
- ・体調不良者が出た場合は、チーム感染対策責任者から大阪府クラブユースサッカー連盟まで報告する。その後の症状など連絡を取り合うこと。

② チーム関係者に新型コロナウイルス感染症陽性者が発生した場合は、

- 保健所等の公的機関からの指示に従う。
- また、その旨を大阪府クラブユースサッカー連盟へ報告

③ 事後対応

万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、「健康チェックシート」を、所属チームで少なくとも1ヶ月保存しておくこと

競技会終了後3日以内に、各チームの感染対策責任者に連絡を取り、具合の悪い選手・スタッフがいないか確認してください。

万が一運営スタッフの中から競技会終了後14日以内に新型コロナウイルス感染症の感染が判明した場合は、保健所の指示に従うとともに、大阪府クラブユースサッカー連盟にその旨ご報告ください。

また、チームから競技会終了後14日以内に感染者発生が報告があった場合にも、同様にその旨、報告すること。

(4) その他

- ① 記載されていない内容は、「JFA サッカー活動の再開に向けたガイドライン」を参考にすること。
- ② 会場責任者や参加チームは、「対策チェックリスト」を用いて、感染対策を徹底する。